

はやぶさ 第154号 2015年10月09日(金)

今回のシリーズでは「資産運用や相続・不動産」について経験豊かな
専門家により解説してもらいます。

「老後破産」にならないためには？

5回シリーズの 第2回

著者： ファイナンシャルプランナー
マネープライランニング
小屋 洋一

はやぶさ 第154号を発信します。

【タイトル】「老後破産」にならないためには？

***** 本題 *****

第2回 「年金は本当にあてになるか」

年金の話題については、先日も田村厚生労働大臣の「年金は75歳まで
支給を遅らせることが選択できるようにする」発言が世間をにぎわし
ていましたが、私もそのテレビを見ていましたが、「75歳で受け取る
ことも受給者が選択できるようにする」という発言内容であるにもか
かわらず、多くのマスコミでは「すわ、支給開始年齢の大幅な後ろ倒
しか！」という誤解した報道内容も目につきました。しかしこうした
一連の報道でもわかるように将来の年金支給については、国民の皆さ
んの関心がとても高いことを表しているとも言えます。

将来の年金支給に関しては、様々な議論がありますが「年金はもらえ
なくなる」など極端に悲観的な意見もあれば、「これまで同様に変わ

らないだろう」という楽観的な意見もあり両極端な話が入り混じっています。

そこでもう一度、現状の年金財政について客観的にみてみましょう。

最近の厚生年金、国民年金の積立金の推移は年々減っていく一方で、厚生年金は7年間で22.4兆円の減少、国民年金は1.6兆円の減少をしています。仮にこのままのペースで積立金の取り崩しが行われ、積立金は2040年（25年後）ごろに底をつく計算になります。

この積立金の枯渇を根拠に即「年金破綻」だとする議論もありますが、年金制度については賦課制度ですので、積立金が枯渇したからと言ってすぐに制度破綻につながるわけではありません。

例えば2014年度の厚生年金予算は、年金保険料収入が25.6兆円、税金から8.8兆円、合計34.4兆円に対して、支出が厚生年金給付で24.5兆円、基礎年金への給付で16.1兆円、合計40.6兆円と収入が支出の85%あります。もしも将来仮に積立金が枯渇したとしても、現役世代から集める保険料をその時の年金支給者に分配するという、賦課方式を続ける以上は、年金制度は破綻することなく、単年度の保険料収入を給付で利用するという形で継続可能だと考えられます。

もちろん政治的にも積立金が枯渇するという事態は、受け入れられないと思いますのでそのような状況になる以前に年金保険料を上げるか、給付金を抑制する措置が取られることでしょう。したがって我々国民としては最悪将来の年金は現行の70~80%程度の給付水準になることを覚悟して、準備をしておくのが現実的な対応になります。

前回は老後の平均的な年金収入を216万円（年額）として考えましたが、仮に年金支給額が80%になってしまった場合には、173万円（年額）になります。年間 $216 - 173 = 43$ 万円不足しますので、前回の計算よりも $43 \text{ 万円} \times 25 \text{ 年間} = 1,075 \text{ 万円}$ と、約1,000万円を多く見積もっていれば「年金不安」にも備えていると考えて良いでしょう。

次に、仮に自分が退職金を別にして「60歳までに2,000万円の資金を

準備しておかなければいけない」場合には、現役（働いている）の間にどのように貯めていけばよいのでしょうか？

60 歳までに 2,000 万円を貯めようとするれば、30 歳ならば 30 年間、40 歳ならば 20 年間、50 歳ならば 10 年間の時間があります。

30 年間の場合は、毎月 5.5 万円、20 年間ならば毎月 8.3 万円、10 年間ならば毎月 16.7 万円の貯蓄をしていれば 2,000 万円の貯蓄は達成可能です。

これに金利（あるいは利回り）を考慮すると

	0%	1%	2%	3%	4%	5%
30 年間	5.5 万円	4.8 万円	4.1 万円	3.5 万円	2.9 万円	2.4 万円
20 年間	8.3 万円	7.5 万円	6.8 万円	6.1 万円	5.5 万円	4.9 万円
10 年間	16.7 万円	15.8 万円	15.1 万円	14.3 万円	13.6 万円	12.9 万円

という変化になります。

老後に準備しておく「**お金**」は、なるべく早く準備に取り掛かることと、確定拠出年金などの税制面で有利な制度を利用しながら、ある程度の利回りを追求しながら準備していくことが必要となります。

この低金利下では、4%や5%といった利回りは難しいのではないかと感じられる方もいると思いますが、今回は「**老後に備えた運用、老後を迎えてからの運用**」について考えます。

無料で資産運用の相談をしてみたい方はコチラ



<http://abvom.biz/brd/archives/ahwxrr.html>

具体的な老後資金のプランニングをしたい方はこちら

↓（毎月、先着 3 名様受付限りです）

<http://abvom.biz/brd/archives/oqjjbm.html>

=====

【小屋洋一プロフィール】

個人に対する 300 件以上の個別相談、大手金融機関での
セミナー、執筆、メディア出演など通し、

『一人でも多くの方に主体的で
楽しい人生を送ってもらえるようにする』

ことを目標に活動。特定の金融機関には属さず
第三者的な立場からアドバイスを行なっている。

資産運用だけではなく相続・不動産に関する
専門知識も豊富なファイナンシャルプランナー。

短期的な利益にとらわれずに、長期的な目線と
全体的な視野からもたらされるアドバイスには定評があり、
会社経営者・弁護士・医師・コンサルタントなど
専門職からも厚い信頼を得ている。

《著書》

◇35 歳貯金ゼロなら、親のスネをかじりなさい！
一すばる舎

◇いわゆる「当たり前幸せ」を愚直に追い求めてしまうと、
30 歳サラリーマンは、年収 1000 万円でも破産します。
一東洋経済新報社

=====

***** お知らせ *****

- ◆ マイナンバー制度導入を検討されている企業様へのご案内です。

マイナンバーの手引書・CD ができましたので、発売を開始いたします。

- (1) 手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度運用手引書

1,000 円（税込み） 送料着払い

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・・・・始業／終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016 年に実施する課題の準備をする（現法令の場合）
- 8) 付表 MyNa 問診シート

- (2) 手引書テンプレート、規程集等 CD 5,000 円（税込み） 送料着払い

ご注文は

<http://www.hosbiz.net/pdf/20150907.pdf>

をプリント後必要事項を記入のうえ、注文票に記載の FAX でお願いします。
現品は、入金確認後に送付させていただきます。

また、予備調査をご希望の方は、

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAX ください。

FAX : 03-5832-9404

※ 特にP-マークや品質・環境／情報セキュリティISOを導入済みの

の企業様には、ローコストでの導入をご提案できます。

=====

- ◆パートナー会社の（株）I & C・HosBiz センターが、リーズナブルコストで
“現状を打破したい！”“はがゆい”ところに手当てする安心と安全の「かかり
つけ医」による「ビジネスドック」（企業の健康診断）のサービスを開始しました。
詳細は、以下のHPを参照ください。（マイナンバー制度にどう取り組むべきかの
診断もいたします。）

<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

=====

経営特くんゲーム 開催のスケジュールのご案内

「マスター20」、「トライアルゲーム」

詳細は下記のHPを参照ください。

- 毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、
「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も
体得できます。

- 「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000 円

=====

- キットBOXを頒布いたします■

「経営特くんゲーム」に関心があり、トライアルゲームを受講された方、または、
これから体験したい方、向けに「キットBOX」と「マネジメント会計3表」
（MO、B/S、P/L）等のゲームに必要な表、ならびに、記入方法、戦略・作戦の

考え方を解説した「DVD」を添えて提供いたします。

◆購入方法はお問い合わせください。

E-Mail: happy@keiei-tokkunshi.jp

◆価格 : 定価 70,000 円 (税別) 支払方法は、ご相談に応じます。

◆特典

- 1) 「トライアルゲーム」および「マスター20講座」を5回、無料で受講できます。
- 2) 申請いただければ、審査の上、「認定経営特訓士」に登録して頂けます (有料)。
- 3) 更に、インストラクターを目指す方には、特別料金で受講できますので、係までお問い合わせください。

=====

プレゼントのお知らせ

◆「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申込みください。

折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会 (略称: K T G A)

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス: happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者: 理事長 平本 靖夫、 編集: 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho